

各地方運輸局 総務部長 殿
神戸運輸監理部 総務企画部長 殿
内閣府 沖縄総合事務局 運輸部長 殿

大臣官房参事官（運輸安全防災）

台風第7号に備えた体制の確保等について

気象庁によると、台風第7号は小笠原近海にあり、今後、発達しながら北西に進み、12日にかけて小笠原諸島に近づき、その後、台風は海面水温が高い日本の南海上を北西に進み、15日頃には強い勢力で東日本や西日本に近づくおそれがあります。

小笠原諸島では、12日にかけて非常に強い風が吹き、うねりを伴って大しけとなり、伊豆諸島でも台風が近づくため、次第に波が高くなり、12日以降は大しけとなる見込みです。

また、小笠原諸島では、12日にかけて雷を伴った非常に激しい雨が降り、大雨となる見込みです。

これにより、小笠原諸島では、土砂災害や暴風、高波に警戒し、低い土地の浸水、河川の増水に注意が必要です。そして、今後、台風が近づく地域では、風や波、雨が強まるおそれがあるため、今後の台風情報に留意してください。

これを受けて、本日（8月10日）、政府において関係省庁災害警戒会議が開催されます。この会議以降、被害状況等のとりまとめや省災害対策本部会議開催の可能性がありますので、特に下記の点に注意の上、万全の対応をお願いします。運輸支局等においても同様に対応できるよう周知徹底してください。

また、自治体や地方関係機関との情報連携に努めていただき、災害初動対応に遅れが発生することがないように体制の確立にご留意いただくようお願いします。

記

1. 事業者等に対する注意喚起
2. 事業者等に対する運行（航）計画変更のHP等による利用者への周知徹底
3. 運輸事業団体・運輸事業者との情報連絡体制の確保
4. 気象台、地方整備局と連携・協力したプッシュ型の支援対応の実施
5. 早期の体制の発令、局内の連絡・災害対応体制の確認
6. 速やかな TEC-FORCE・リエゾンの派遣
7. 被害状況等のとりまとめ及び災害対策本部会議時の対応（テレビ会議等）の準備